

ソニー 渉外部国際関連担当部長 遠山 雅夫

シノーレ、シノーリ、ミピアツェ リタリア (Signore e Signori, Mi piace l'Italia.)
皆様、私はイタリアが大好きです。

本日、皆さんのお話を伺っていて思いますのは、Faster, Bigger, Richer という世界は終わったのではないかということです。綺麗なものを見て、inspire される。そして消費が拡大していく。精神的に、21 世紀にならなければならないのではないかということです。多くの日本人がミレナリオの光の海に感激しました。私は、昨日も今日もアルマーニです。(色とスタイルが好きですから。)

ソニーはイタリアにインスパイアされました。2007 年サローネ・インターナショナル・デル・モビル・イン・ミランの際に、プロトタイプを展示しました。ロンバルディア政府による支援のもと、イタリアの 13 の工房とコラボして、スピーカーなどのプロトタイプを展示しました。

昨日の分科会では、日本とイタリアのコネクティビティーを議論しました。人、物、金のコネクティビティーです。

人に関しては、イタリア内務省のドットレッサ・ダニエラ・パリージ氏からビザの発行手続きに関する詳細なご説明がありました。さらに EU では (EU の国々をまたいで移動できる) ブルーカードが導入されます。これがお国で法律になる際にも、ご配慮いただけるとのことでした。ソニーは欧州では、雇用を創出しております。日本人赴任者は技術移転、技術交流、雇用創出に貢献していると私は思います。

物に関しては、技術基準の障壁はもっと無くしていけるのではないかということ、技術基準はイタリア側のモンタナーリ (在日イタリア商工会議所会頭) さんが、今おっしゃったように、重要な課題です。EU のディレクティブにより、各国で法律ができるのですけれども、少なくとも EU の中では、one test one certification で済ますことは出来ないかと思うのです。それができれば、ユーザーにハイテク技術へのアクセスを、すみやかに、広く提供できるのではないかということです。これは EU の深化 (deepening) を進めるという課題だと思います。

模倣品を放置しては、イノベーションを後押しできないのではないかという問題、これは二又さんがご専門ですけれども、重要な課題です。

さてお金に関しては、イタリア側から日伊租税条約改定の話がありました。ローヤリティー支払いに関する源泉課税は、日本は租税条約の改定により、米国、英国、フランスとの間では、改善しています。私もイタリアとなぜ改訂できないのかと思いました。

私は経団連日 EU EIA タスクフォースのメンバーで、JEITA 日本電子情報技術産業協会でも通商委員会もやっております。そういった中で思いますのは、G8 の議長国を最近した、イタリアと日本は、そして EU のコアメンバーである、イタリアは、日欧 EIA をすすめる上で、より大きな役割を果たすことができるのではないかということです。フィンメカニ

カメレスカさんも、フィンメカニカは日欧 BDRT に参加するのだとおっしゃっていました。日欧 BDRT で日 EU EIA の推進を議論しているというおなはしがありました。これはたいへん結構なことです。以上でございます。

Grazie Mille ありがとうございました。